

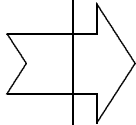
## 防災マップと写真から危険箇所を探る

<b>学校名</b> 五城中学校 中学校版	<b>氏名</b> 教諭 遠藤 寿江 <b>単元名</b> 自分の身は自分で守る P 40～41 <b>教科・領域名</b> 学校行事	<b>時間</b> 50分
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際	
<p><b>【ねらい】</b>                  ○避難訓練をきっかけに、自分の命は自分で守るということ(自助)について、実際の場面を想定しながら、話し合い活動を通し理解する。</p> <p><b>【授業の流れ】</b></p> <p>1 大震災の時にどこで何をしていたか。また、どのような行動をしたかを確認する。</p> <p>2 副読本 P.40 の写真①、②を見て、<u>学校内で被災した際に、どのような危険が潜んでいるか、また、どのような行動が適切であるかを考える。</u></p> <p>3 実際の<u>自分たちの学校の写真</u>を提示し、同様に考える。</p> <p>(日常生活場面・活動中に起こった場合)                  A：放課後の部活動(体育館)                  B：登下校中の下駄箱付近</p> <p>4 副読本 P.40 の写真③、④を見て、<u>学校以外の場所で被災した際に、どのような危険が潜んでいるか、また、どのような行動が適切であるかを考える。</u></p> <p>5 班を作り、自分たちが作った<u>防災マップ</u>を用いて、自分たちの地域の危険箇所を共有する。</p> <p>6 P.41 の津波から身を守るための基本的な知識を○×形式で確認し、副読本で細かなところを見る。</p> <p>7 本時の振り返りと感想を記入する。</p>	<p><b>【準備物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災副読本、ワークシート <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">校舎内の写真</span></li> <li style="margin-left: 20px;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">防災マップ</span></li> </ul> <p>●提示用写真                  A：放課後の部活動                      B：登下校中の下駄箱付近</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>●防災マップ作り →</p> <p>○夏休みに宿題として、<u>自分の通学路の危険箇所を書き込ませた。</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>●授業の班での話し合いの様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>●生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業を受けて、<u>普段どれだけ危険なものに囲まれて過ごしているかを、あらためて認識できた。</u>災害の際は、適切な行動を取り、自分の身は自分で守りたいと思った。</li> <li>・「自助」について考えさせられた今日の授業を通して、自分が今まで間違っていて覚えていた事もあり、あらためて<u>しっかりとした知識がないと、自分の命は守れないと思った。</u>地震の後の行動がとても重要だと分かった。</li> </ul>	

## 第4章ー2 自分の身は自分で守る

組 番 氏名

1. 東日本大震災の時、どこで何をしていたか。また、そのとき、どのような行動をしたか。

○何をしていたか。	○どのような行動をしたか。
	

2. 副読本 P.40 の写真を見て、どこに危険が潜んでいるかを考え、どのように行動することが適切かを考えよう。 【学校編】

	どのような危険があるか	どのように行動すれば良いか
写真① 学校で調理実習中		
写真② 登下校中の校舎そば		

3. 副読本 P.40 の写真を見て、どこに危険が潜んでいるかを考え、どのように行動することが適切かを考えよう。 【学校外編】

	どのような危険があるか	どのように行動すれば良いか
写真③ 市の中心部		
写真④ 住宅地の路地		

3. 自分たちが作った防災マップを用いて、自分たちの地域の危険箇所をチェックしよう。

4. 津波から身を守るために

次の問題は、正しいか正しくないか○×を付けてみよう！

Q1	逃げるときは、できるだけ海岸から遠くに逃げた方が良い。	
Q2	津波注意報や警報を聞いて、情報を確認してから逃げた方が良い。	
Q3	津波のとき、早く逃げるために自動車を使ったほうが良い。	
Q4	P.41 の標識は、「津波避難場所」を示している。	
Q5	三陸地方には、「津波でんでこ」という言い伝えがある。これは津波が来たらたとえ肉親にも構わずに、各自でんでんばらばらに逃げるという意味である。	

5. 今日の授業を受けての感想